

地球環境論 I

科目ナンバリング ECE-101
【Ⅶ】 選択 2単位

渡辺 浩平

1. 授業の概要(ねらい)

都市廃棄物処理・物質循環型社会論: この講義で取り上げるのは「ごみ問題」であって、地球環境問題ではありません。地球気候変動などの典型的な地球環境問題についての講義を受けたい学生は自然環境論Iあるいは他の講師の環境の科目を受講することをおすすめします。

現代の資源利用においては、地球規模での環境問題や資源問題、また各地でのごみ処理をめぐる問題をかえりみて、天然資源の利用を極力抑えた循環型社会をめざすことが求められています。そのためには生産―流通―消費―廃棄という資源の流れの各段階での対応が必要ですが、この講義では廃棄からの視点で論じます。

循環型社会形成推進計画の理念や再資源化を含めた廃棄物管理について、廃棄物処理の歴史や制度、廃棄物の発生段階の分析などをとりあげます。日本の事例とあわせてイギリスやマレーシアの事例なども講師が独自に行った調査結果などを用いて紹介します。

2. 授業の到達目標

廃棄物対応の「優先順位」の理解。廃棄物に関連する日本の制度の理解。廃棄物発生に関する調査方法の理解。

3. 成績評価の方法および基準

小テストを2回程度おこない、その結果をもとに評価します(各50%)。講義への参加やフィードバックなどで特筆すべきことがあれば加点します。

小テストを実施した翌週には解説や模範解答の提示等のフィードバックをおこないます。

4. 教科書・参考文献

参考文献

3R検定実行委員会 編 『3R・低炭素社会検定公式テキスト』 ミネルヴァ書房

大塚 直 『環境法』 有斐閣

5. 準備学修の内容

講義にて、参考文献や関連するウェブサイトなどを示すので、それらを参照して予習復習してください。

6. その他履修上の注意事項

日程は講義の進み具合によって、下記の計画通りにならないことがあります。外部講師によるゲスト講義(1回)が入る可能性があります(講師交渉中)。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 「ごみ」とは? 廃棄物の概念と定義
- 【第3回】 日本のごみ処理の歴史: 江戸時代から現代まで、主に法制度の発展を中心に紹介
- 【第4回】 日本の廃棄物の法制度: 循環型社会形成推進基本法
- 【第5回】 日本の廃棄物の法制度: 循環型社会形成推進基本計画
- 【第6回】 日本の廃棄物の法制度: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 【第7回】 中間小テスト、前半部のまとめ
- 【第8回】 小テストの解説
- 【第9回】 日本の廃棄物の法制度: 資源有効利用促進法、容器包装リサイクル法
- 【第10回】 日本の廃棄物の法制度: 家電リサイクル法、小型家電リサイクル法、自動車リサイクル法
- 【第11回】 日本の廃棄物の法制度: 食品リサイクル法、建設リサイクル法、他
- 【第12回】 家庭ごみ細組成調査1: 調査の方法の解説
- 【第13回】 家庭ごみ細組成調査2: 各地の結果の比較など
- 【第14回】 まとめと期末小テスト
- 【第15回】 小テストの解説、質疑応答など